



なんでもねん

発行責任者 倉橋 忠



No.43

盧舎那仏(大仏)が造られた背景を年表から読み取ろう

東大寺の大仏が造られた背景に何があったのだろうか。災いとは何だったのか。

【課題】① なぜ、飢饉(ききん)は起きたのか。天災だけが原因だろうか？

② 大仏は、何を目的にして建立されたのだろうか？

【ヒント】 ①遷都には造営工事が必要である。②なぜ、行基は民衆にも協力を呼びかけたのか。③人口500万人の時代に、大仏建立に延べ260万人が参加した。

※ この年表は『続日本紀』の記録を元に倉橋が作成した。政治上の重要な動きを網羅したものではないことをお断りしておく。なお、教科書に触れられていることを太字で表した。

【東大寺の大仏建立と主な出来事】主として聖武天皇の時代(『続日本紀』の記録に基づく出来事)

西暦	月	天皇	政治上の主な出来事	天災・災害 と 朝廷の取った対策(天皇の詔)	文化・その他
717	4	元正		畿内で雨乞いをした。	行基の活動を非難し、取り締まる詔が出る。
	5			国中で人民が四方に流浪し、税から逃れようとしている。無断でこれらの人民を自分の召使いにしないように詔を出す。	
719	9			天下の人民の戸に陸田(はたけ)1町以上20町以下を貸し与えた。小作料は1段につき粟(アワ)3升とする詔を出した。 6道の諸国が旱害(日照りによる不作)にあい飢饉になった。義倉を開いて穀物を恵み与えた。	
720	2			15日の夜に地震があった。	
721	1			24日と25日に地震があった。	
	2			7日に地震があった。	
	12			29日に地震があった。	
722	7			全国的に雨が降らないので凶作に備えて大麦・小麦やそばなどを植えるよう詔を出す。	
	8			都と天下の諸国の租を免除する詔を出す。	
723	4		三世一身法		
724	2	聖武	元正天皇が位を皇太子にゆずる。聖武天皇が即位する。		
	3		陸奥国の海道(太平洋沿岸地域)で蝦夷が反乱をおこす。		
	5		出羽国(現在の秋田県と山形県)の蝦夷鎮圧を命じる。		
	12			尾張国で飢饉。遠江国で水害。両国に3年を限度に民への無利息の貸し出しを命じる。	
727	2			難波宮の造営工事で強制雇傭した民の調・庸・雑徭を免除する。	
	10			安房国で大風があり家屋の破壊され、秋の収穫に被害。上総国で山崩れが起こる。両国に物を恵み与えた。	
	12		渤海(ぼっかい)の使者が来る。		
728	5			平城京で長雨による被害。麻布・粉・塩を損害にに応じて与える。	
	9		2歳の皇太子が死ぬ。		
729	2		長屋王(天武天皇の孫)の変。長屋王を自殺させる。		

西暦	月	天皇	政治上の主な出来事	天災・災害 と 朝廷の取った対策(天皇の詔)	文化・その他
730	6	聖武		畿内で旱害(日照りによる被害)が予想されるので巡検させる。神祇官の建物に落雷で人畜に被害が出る。	
	9				都や諸国に盗賊を取り締まるよう詔を出す。 行基らを取り締まる詔を出す。 檻を作って鳥獣を捕獲することを禁止する。
	11			雷雨と強風で樹木が倒れ人家がにわれる。	
731	6			紀伊国阿武郡の海水が4日間血の色になる。	
	8			豊年で穀物がよく実る。天下の人々と喜びたいので租を半分に免除する。	行基を法師と呼び、その活動を一部容認する詔を出す。
732	6			春から夏まで日照りで農作業が出来ない。雨乞いの祭りを行うが効果はなかった。	
	7			15日に地震があった。	
	8			月初めに大風が吹き雨が降る。月末に大風雨で家や寺の堂塔が壊れた。秋は不作だった。	東海・東山道及び山陰道の兵器・牛馬の売買を禁止する。
	12			22日に地震があった。	
733	1			讃岐国・淡路国などが飢饉だったので無利息で稲を貸し付けた。	
	2			紀伊国に旱害がおこる。大和・河内では五穀が実らず民が飢えた。救済の物資を与えた。	
	3			遠江国・淡路国で飢饉。救済の物資を与えた。和泉・紀伊・淡路・阿波国の旱魃(かんばつ)が特にひどく五穀が実らなかった。稲を無利息で貸し付ける詔を出した。	
	4			遣唐使船4隻が難波の津より進発する。	
	12			この年は、飢えて疾病にかかる者が多かった。いずれにも、無利息貸し付けを行った。	
734	4			7日に大きな地震があり天下の人々の家が壊れた。山が崩れ、川はふさがり、地割れが方々に数え切れないほど起こった。畿内の神社の被害を調査させる。	東海・東山道及び山陰道の兵器・牛馬の売買を許可する。
	5				天平4(732)年の旱魃以来、貧しい人が増える。借りた稲を返せず田や家を手放す者が多くなる。
	9			24日に大きな地震があった。	
735	5			宮中と大安寺・薬師寺・元興寺・興福寺で大般若経を転読させ、災害除去と国家安寧を祈願した。	
	8			太宰府管内の神祇に人民のために祈禱させる。諸国の寺に金剛般若経を読誦させる。疫病に苦しむ人に米などを与え、煎じ薬を給付する。長門国より東の山陰道の街道で悪鬼の侵入を防ぐ祭祀を行わせる。	太宰府管内で疫病(天然痘)により多くの死者が出る。この年は、穀物の実りが悪かった。夏から冬にかけて全国的に豌豆瘡(天然痘)にかかり多数の死者が出る。
736	7			唐人3人とペルシャ人1人と共に遣唐使らが帰国。	
	10			太宰府管内では去年の天然痘の流行で農作業が出来なかったため、太宰府管内の租を免除する詔を出した。	
	11			秋の収穫がすこぶる悪いので、平城京・畿内の国々の租を免除した。	
737	2			陸奥国の多賀の柵を支配。	
	4			疫病(えきびょう)と旱魃(かんばつ)日照りで作物が実らないこと)が起こる。	太宰府管内で疫病により多くの死者が出る。
	7				大和・伊豆・若狭・伊賀・駿河・長門の国で飢饉と疫病で多くの死者が出る。
	8			筑紫に赴く防人を停止し、代わりに筑紫の人に高岐・対馬を守護させる詔が出た。	瘡のある疫病(天然痘)が、筑紫から伝染して夏から秋にかけて天下の人民が相次いで数え切れないほど死亡した。このようなことはかつてない。
	10			19日に地震があった。	
738	9			6日に地震があった。	
	12			仕丁の労役が終わって郷里に帰る時、道中の食料を初めて支給するようになった。	
739	7			渤海(ぼっかい)の使者が来る。	
740	9			藤原広嗣の反乱	
	12			恭仁京に遷都する	

西暦	月	天皇	政治上の主な出来事	天災・災害 と 朝廷の取った対策(天皇の詔)	文化・その他
741	2	聖武			馬や牛を屠殺することを禁止する詔を出す。(馬や牛は人に代わって働き、人を養ってくれるので屠殺してはならない)
	3		国分寺建立の詔		
	8			佐渡国で長雨。	
	9		都(恭仁京)の造宮に畿内から		
742	1		太宰府の廃止。		
	2		恭仁京から紫香楽の離京への道を造成する。		
	3			24日に地震があった。	
	5			畿内で長雨。	
	8		紫香楽の離京を造る。		
	9			風雨が激しく恭仁京の建物などがこわれた。	
	12			16日に地震があった。	
743	5		聖武天皇私財法制定。	3月から5月まで雨が降らなかったため、雨乞いをする。	
	7			2日に地震があった。	
	10		盧舎那仏造宮(大仏造立)の詔。		行基が弟子たちを率いて民衆に大仏建立への参加を勧誘した。
	3		恭仁京の造宮中止。		
744	2		難波宮に遷都。		
	4		紫香楽宮の造宮工事がすすまないため、役所の運営費を貸し出して利息を取ることにした。		
	5			4日に肥後国に雷雨と地震があり、人が水没したり山崩れが起きた。	
	6			21日に氷が雨のように降った。	
	11		甲賀寺(紫香楽)に初めて盧舎那仏の体骨柱を建てた。		
745	1		1日に紫香楽宮に遷都する。		21日に行基を大僧正とする。
	4			紫香楽京で山火事が相次ぎ、幾日も鎮火しなかった。 27日に一晩中地震があり、それが3昼夜続いた。美濃国では国衙(国府の役所)や寺や人民の家が崩壊した。	
	5		都を平城京にもどす。	1日～18日まで、ほぼ毎日地震があった。この5月の地震の多発は異常で、度々地面に亀裂が生じ、そこから泉水が湧出した。	
	7			17日と18日に地震があった。	
	8		奈良で大仏の建造着手。	24日と29日に地震があった。	
	9			2日に地震があった。	
746	1			14日、29日、30日に地震があった。	
	6			5日に地震があった。	
	9			13日に地震があった。	
	10			5日に日向国で風雨が激しく、養蚕に被害出たので調と庸を免除した。	
747	4			紀伊国に疫病と旱害が起こったので物を恵み与えた。	
	5			12日に地震があった。近江・讃岐の2国で飢饉が発生。	
	6			15日に平城京の羅城門で雨乞いを行った。	
	7			都は日照りが続いているので、諸社で雨乞いをしたが効果がなかった。	
748	8			近江・播磨の国に飢饉が起こる。	
749	1			上総国に飢饉が起こる。	
	2			下総国に旱害といふこの害による飢饉が起こる。石見国に疫病がはやる。	行基が死ぬ(80歳)。
	7	孝謙	聖武天皇が皇太子に位をゆずる。孝謙天皇が即位する。		
	10		大仏鑄造終わる。		
752	4		東大寺大仏開眼供養。		
754	1		鑑真が日本に到着。		